



2021

東京都大学サッカー連盟

公式記録 マニュアル



《 Menu 》

1. はじめに	1
2. 心得	1
3. 持ち物	1
4. 当日の流れ	2
5. 試合内時間の表示	2
6. 記入方法・注意点	3

1. はじめに

「公式戦」、それは選手であれば誰もが目指す場所です。その公式戦の舞台上、選手たちが出場・活躍した証を " 記憶 " ではなく " 記録 " として残すものが " 公式記録 " になります。公式記録がなければ、選手が学生時代にどれだけの公式戦に出場したかを証明するものは何一つありません。また公式記録から「得点王」などを集計します。公式記録が正確であることで、各表彰の正確性が高まり、受賞者の価値を高めることに繋がります。記録員は、その役割を担っています。

2. 心得

正確性が一番

正確性を一番重要です。わからなかった事象については、推測で記入せず、周囲の本部役員や当該チームベンチに確認するなど、事実に基づく記録をしましょう。

確認者にサインを求める前に、今一度全体を見直し、記入漏れや誤りがないか確認します。

キレイな字で記入しましょう。

3. 持ち物

持参する持ち物

- ①ボールペン（清書用） ②赤ペン ③修正テープ ④白紙 A4 用紙（メモ用紙）
⑤ストップウォッチ ⑥メンバー提出用紙（運営本部用） ⑦公式記録用紙

4. 当日の流れ

試合前	情報記入	審判員、先発選手、控え選手、MCM 出席者情報 を記入する
前 半		
ハーフタイム		・主審に「①スコアの確認」「②警告・退場の対象者、理由」を確認 ※時間は原則、記録担当の記録時間
後 半		
試合 終了後	第4 審判確認	第 4 の審判員に「交代の組合せ」を確認 ※参考：交代カード
	主審確認	主審に「①スコアの確認」「②警告・退場の対象者、理由」を確認 ※時間は原則、記録担当の記録時間
	監督確認	MVP 投票内容を確認
	特記事項	各チームや審判員に特記事項があれば、記入する ※事後報告は受け付けない
	サイン	※運営担当 → 主審 → 両チーム監督 の順番 でサイン

万が一、サイン者会場離脱後に修正発生の場合、赤字で修正がわかるように記入する

5. 試合内時間の表示

	実際の試合	公式記録での表示
前 半	0 分 00 秒～1 分 00 秒	1 分
	1 分 01 秒～2 分 00 秒	2 分
	⋮	⋮
	44 分 01 秒～45 分 00 秒	45 分
前 半 アディショナルタイム	45 分 01 秒～46 分 00 秒	45+1 分
	46 分 01 秒～47 分 00 秒	45+2 分
	⋮	⋮
ハーフタイム	—	HT
後 半	0 分 00 秒～1 分 00 秒	46 分
	1 分 01 秒～2 分 00 秒	47 分
	⋮	⋮
	44 分 01 秒～45 分 00 秒	90 分
後 半 アディショナルタイム	45 分 01 秒～46 分 00 秒	90+1 分
	46 分 01 秒～47 分 00 秒	90+2 分
	⋮	⋮
試合終了後	—	終了後

※ 秒単位は **“切り上げて”** 表示します

6. 記入方法・注意点

(1) 警告・退場

項目	記載内容	基準・注意点
時間	【2ページ参照】	原則として、記録担当の記録時間を採用する（主審への確認は不要）
理由	該当するものを記入	<u>主審に必ず確認</u>
番号	対象者の番号を記入	<u>主審に必ず確認</u> 。監督やチーム役員の場合には、“—”を記入

《例：警告2枚による退場の記入方法》

時間	理由	番号	氏名
68分	C1	22	● ● ● ●
90+1分	C2	22	● ● ● ●
90+1分	CS	22	● ● ● ●

【警告（1枚目）】 + 【警告（2枚目）】
= 【退場（理由：警告2枚による）】

という考え方であるので、3行記入する

(2) オウンゴールの基準

明らかなオウンゴール以外は、すべて攻撃側選手の得点とします

結論	事例
攻撃側チームの得点者	<ul style="list-style-type: none"> シュートが守備側選手に当たり、コースが変わったためにゴールした場合でもすべて攻撃側の得点と記録 シュートが明らかにゴール枠内に飛んでいない場合でも得点と記録 (攻撃側の「得点をしよう」という意図を重視) 守備側選手がクリアを試みる等の意図的にボールに働きかけた場合でも、得点
オウンゴール	<ul style="list-style-type: none"> 明らかにシュートではないボールに、守備側選手が、意図的にプレーした場合 明らかにシュートではないボールが、守備側選手に偶然当たった場合 守備側選手の明白なミス(バックパスがそのままゴールした等)